

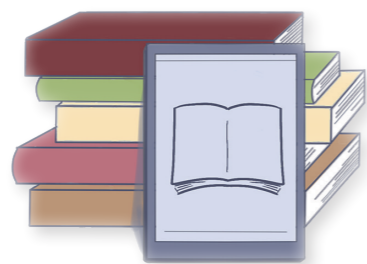
Ⅲ 教育・文化の振興と拠点づくり

読書促進事業

変更

773万円 → 973万円

図書館の利用促進と読書活動の推進を図るため、図書購入や各種イベントを拡充して実施します。



Ⅳ 生活環境・生活基盤の充実

雄武斎場設備更新事業

変更

0万円 → 1億4,335万円

平成4年の供用開始から30年が経過し設備の老朽化が著しいことから、新型炉への更新を行い安定稼働に努めます。



雄武町廃棄物処理対策事業

変更

66万円 → 4,300万円

資源ごみの一時保管場所として使用している旧中雄武小学校の老朽化が著しいことから、新たに資源ごみ分別保管倉庫を建設し、作業スペースを確保するとともに作業効率の向上を図ります。

西紋別地区環境衛生施設運営事業

変更

200万円 → 1,000万円

本年4月から一般廃棄物の一部を西紋別地区広域ごみ処理センターへ搬出し、雄武町廃棄物最終処分場の延命化を図ります。

雄武町公共下水道普及促進事業

変更

10万円 → 79万円

雄武町公認キャラクター「いくらすじ子」が描かれた新たなマンホール蓋のデザインが完成したことから、展示用のカラーマンホール蓋を作成します。

また、下水道広報プラットホーム（GKP）が、全国の地方公共団体と共同で発行しているマンホールカードを本町も導入予定であり、希望者へ配付することで下水道の普及促進に努めます。



↑新マンホール蓋デザイン

Ⅴ 協働によるまちづくりの推進

体育施設整備事業

変更

0万円 → 1,180万円

スポーツセンターのトレーニング室のリニューアルをはじめ運動器具を整備して、町民の健康維持とスポーツ活動の推進に努めます。



第6期雄武町総合計画前期実施計画

ローリング（見直し作業）を実施！

第6期雄武町総合計画は、平成30年度から令和9年度までの10年を期間とする「基本構想」と基本構想をもとに前期と後期の5年ごとに策定する「基本計画」、基本計画推進に向けた事業を定める「実施計画」、財源を健全に確保する「財政計画」の4層構造となっています。

このうち「実施計画」は、各年度の予算編成における基本指針となるもので、社会情勢の変化や時代のニーズに対応するべく、毎年度、ローリング（見直し作業）を行っています。

今月号では、本年度のローリングによって位置づけられた主な「新規事業」および「内容変更」事業についてお知らせします。なお、これらの事業は、町議会における予算の議決を経て、正式に実施することが決まります。

新規・内容変更した主な事業（事業費は令和4年度実施分）

I 地域産業の振興と雇用の創出

さけ・ます稚魚調査事業

新規

100万円

近年、さけ・ますの資源量が減少していることから、回帰性の向上を図るため、さけます・内水面試験場、北見管内さけます増殖事業協会、雄武漁業協同組合が連携して実施する稚魚放流の適期などの調査に対して支援を行い、本町の主要魚種であるさけ・ますの生産性向上に努めます。

毛がに資源増養殖事業

新規

30万円

資源量が減少傾向にある毛がにの産卵・ふ化・育成までの生態を解明するため、オホーツク管内栽培漁業推進協議会が実施する増養殖試験に対し支援を行い、毛がにの生産性向上に努めます。

II 保健・医療・福祉の充実

特別養護老人ホーム等整備事業

変更

2,416万円 → 3,711万円

新型コロナウイルス感染症の拡大防止および近年の温暖化の影響から入所者の健康を維持することを目的として、特別養護老人ホームに冷房設備を設置します。

また、デイサービス棟の暖房・給湯器更新はデイサービス棟が平成元年度に竣工してから一度も更新していないため、老朽化による更新を行います。



特定健診・特定保健指導事業

変更

350万円 → 1,071万円

特定健診の受診率向上と重症化予防などを行うため、令和3年度に引き続き北海道国民健康保険団体連合会などとの共同により、AIを活用した個別通知を行うほか、新型コロナウイルス感染症の影響などで病院受診を控えているハイリスク者へ受診勧奨などを行い、町民の健康維持と医療費の適正化の推進を図ります。

見直し後の「前期実施計画書」に記載されたすべての事業は、町ホームページと役場財務企画課窓口で公開しています。

関財務企画課企画調整係